

地 活 協 レ ポ ー ト

令和 5 年 10 月

東 淀 川 区 役 所
地 域 課 (地 域)

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■子育てサロン連絡会勉強会（9月1日）

子育てサロン連絡会勉強会が開催されました。子育てサロン連絡会は、**東淀川区子ども子育てプラザ**（以下、「子プラ」）が事務局となり、各地域の**子育てサロン**や子育て支援センターのスタッフなどが集まり定期的に意見交換を行っています。

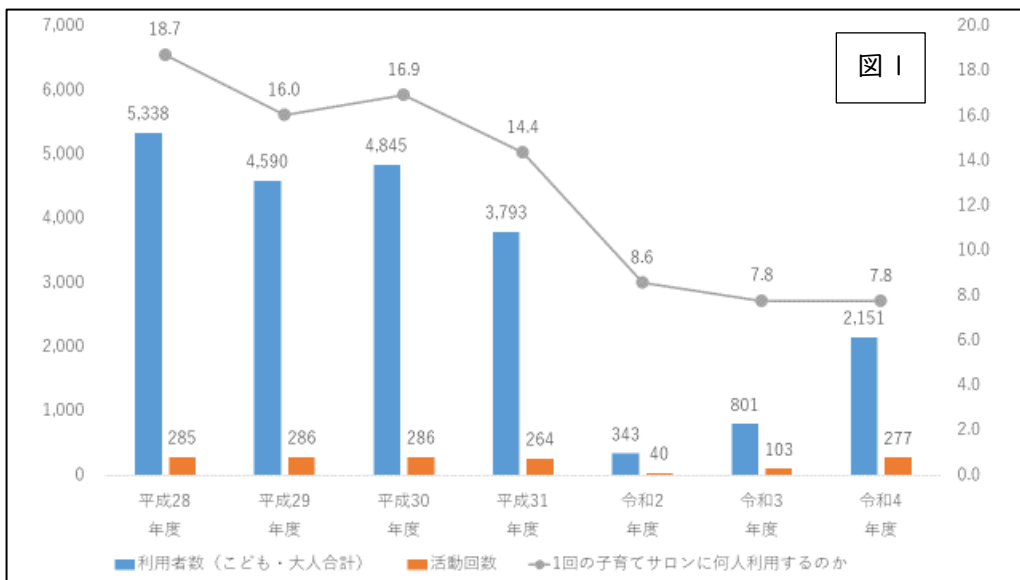
令和5年度は約5年ぶりに「みのりちゃんフェスタ」が11月に開催されます（詳細は「子育て情報GoGoみのりちゃん10・11月号」をご覧ください）。しかし、この5年の間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響で、子育て環境が大きく変化し、子育て世帯のニーズも変化した可能性があります。そこで、4月から5

月にかけて子プラが子育てサロンやおやこひろばなど子育て支援を行っている施設・団体に利



用者のヒアリング調査を実施しました（詳細は**子プラホームページ**をご覧ください）。今回、この調査結果をもとに勉強会が行われました。

ここで子プラからいただきました資料データを紹介します。図1のグラフは平成28年度

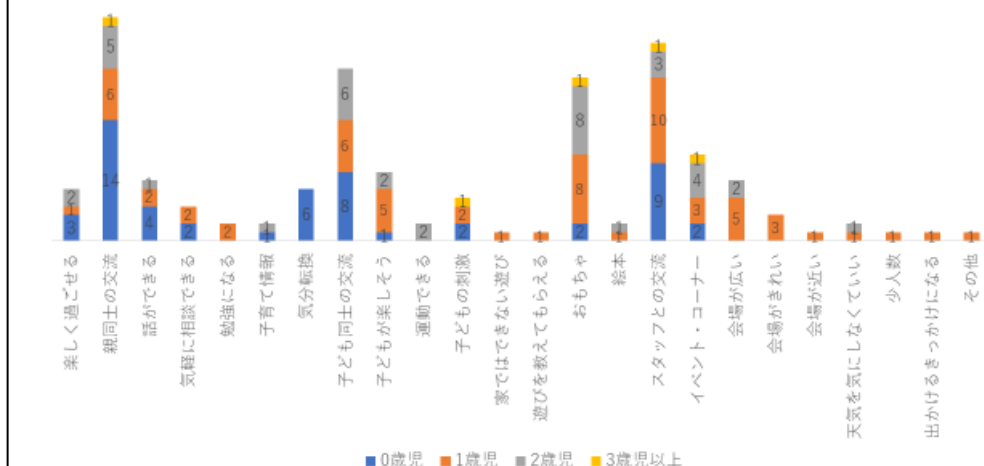


から令和4年度にかけての各地域の子育てサロンの利用者数と活動回数の推移です。令和4年度の活動回数は277回、利用者数は2151人となっています。平成31年度の活動回数は264回、利用者数は3793人となっていました。平成31年度以前の水準に戻っていますが、利用者数が戻っていないことが分かります。つまり、せっかく実施しても利用者数が増えない状況でしたが、この3年間各子育てサロンの視察させていただくと、利用者が少ないことで、会場を広く使って元気に遊ぶ子どもたちの姿や、スタッフや専門家との子育て相談をじっくり行う保護者の姿をよく見かけました。このような姿を見ると利用者の満足度は逆に向上しているのではないかと日々感じていました。その参考となったのが図2のグラフです。

このグラフは今回のヒアリング調査の設問の一つで、「（子育てサロン等を）実際に利用して良かったこと」を聞いています。「（親同士、子ども同士、スタッフとの）交流ができて良かった」、「子どもが楽しそう」などの回答が多く、令和5年度の各地活協の子育てサロンの事業計画を見ると、事業効果の検証は、「子育てサロンは、『親同士の交流や仲間づくり、子育ての情報交換の場』となっているか」を利用者に聞くという地活協が多かったですので、まさにそのような場になっていることが分かります。（裏面に続く↓）

図 2

実際に利用して良かったことは？



今回の調査で利用者数の増加を追い求めるのではなく、利用者の満足度を向上させる大切さを知ることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で通い控えがまだある事業もおありかと思いますが、利用者数の増加ではなく、満足度を向上させるよう努めることで事業の目的を達成していただきたいと思います。

◆地域課からのお知らせ

■11月の地活協実務者学習会は予定を変更させていただきます。

令和5年度から開催しています、地活協実務者学習会。第3回は、9月6日に「効果検証（アンケート）の活用について」をテーマに開催しました。

各地域から多くの参加があり、「効果検証の目的・方法・活用」について学び合い、その後、参加者同士で意見交換を行いました。

アンケートの作成については

中央区まちづくりセンターが

「地域活動協議会効果測定マニュアル」を作成されています。

ぜひ参考にしてください。



次回は、11月1日に「次年度の計画の立て方について」をテーマに開催する予定でしたが、予定を変更し、各地活協に個別に今回のテーマについてお話しさせていただきたいと思っています。その際は改めて各地活協にご連絡させていただきますので、ご了承ください。